

市議会だより



● 給食の生ごみ堆肥化による花壇再生プロジェクト
(実施主体 かねがわ畑・男鹿南中学校)

おが市議会だよりを
無料アプリ「マチイロ」
で配信しています。

 マチイロ



◆ 9月定例会審議日程 ◆

21	18	14	13	12	11	10	7	6	5	9月3日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
一般・特別会計決算 (表決)	議会運営委員会	予算特別委員会	常任委員会・分科会	決算特別委員会	決算特別委員会	予算特別委員会	議会(議案質疑)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(議案上程)

記事内容

7月臨時会・9月定例会から		P 2
決算特別委員会		P 3～P 4
一般質問		P 5～P 9
議案質疑		P 9
予算特別委員会		P 10
議会報告会		P 10
常任委員会		P 11
編集後記・陳情等		P 12

7月臨時会 9月定例会

7月臨時会は7月31日に招集され、みなと市民病院事業会計決算の認定など2議案を継続審査としたほか、和解及び損害賠償額の決定について可決しました。初日には、9月定例会は9月3日に招集され、21日までの19日間の会期で開かれました。7月臨時会では継続審査としていた、みなと市民病院事業会計のほか、上水道・ガス・下水道・農業集落排水及び漁業集落排水事業会計の決算案を全会一致で認定しました。また、平成29年度一般会計及び特別会計決算の両決算案など、14議案が市長から提案され、12議案を可決・認定・異議なしとしましたが、男鹿市公園条例等及び男鹿市都市公園条例の改正案は、さらに審査の必要があるため継続審査としました。なお、一般会計及び特別会計決算の認定は平成25年度決算以来、4年ぶりとなりました。

可決した主な議案

7月臨時会

〈その他〉

- 和解及び損害賠償額の決定

9月定例会

〈決算認定〉

- 平成29年度男鹿みなと市民病院事業会計決算
- 平成29年度男鹿市上水道、ガス、下水道、農業集落排水及び漁業集落排水事業会計決算
- 平成29年度男鹿市一般会計歳入歳出決算
- 平成29年度男鹿市特別会計歳入歳出決算

〈補正予算〉

- 一般会計予算（第3号）

〈主な内容〉スクールバス更新事業費1千840万円、現在公共土木施設災害復旧費1千470万円、農地農業用施設補助災害復旧事業費1千413万2千円などを措置したもので、歳入歳出それぞれ7千490万円を追加するものです。他1件

〈その他〉

- 市道の廃止・認定
- 人権擁護委員の推薦
- 畠山喜代和（北浦）
- 三浦 源蔵（男鹿中）
- 渡部 恵子（船越）
- 古仲 宗雲（北浦）

4年ぶりの決算『認定』

—平成29年度一般会計及び特別会計—

体育施設有料化に関する改正条例案は継続審査

※男鹿市議会会議録は男鹿市ホームページでご覧いただけます。

7月臨時会

●「オガレ」について

7月1日にオープンしたオガレは、開業以来、多くのお客様に利用いただいております。7月29日までの、レジ通過者累計は4万4千600人、総売り上げ累計7千440万円、客単価は1千668円で推移しています。

9月定例会

●台風21号通過に伴う被害状況について

9月7日時点で、一般の建物では住家18棟と非住家15棟で屋根の剥離や外壁の破損等の被害が発生しました。このほかの被害状況は、

●公共施設／男鹿市民文化会館、若美総合体育館、旧若美ガス供給所管理棟、男鹿市斎場、小学校3校、中学校2校

●平成29年度一般・特別会計決算の認定について

一般会計、特別会計の決算認定案の総額は歳入276億8千981万7千円、歳出270億3千655万9千円で、平成22年度から無料としていた市内18施設の体育施設について、市民の利用を有料化にする2件の改正条例案は、さらに審査の必要があるため、継続審査となりました。

●体育施設の有料化について

市民の健康増進を目的に、平成22年度から無料としていた市内18施設の体育施設について、市民の利用を有料化にする2件の改正条例案は、さらに審査の必要があるため、継続審査となりました。

●農作物／水稲や大豆の倒伏、中石地区で和梨の樹園地全域で果実の2割から4割の落下や、和梨や露地菊の一部の葉に枯れ上りが見られ、今後被害の増加が懸念されます。葉たばこは、ハウス破損により減収100kgの被害が見込まれます。

●農業用施設／水稲や園芸用パイプハウスの被害が29棟確認されています。

●農業者の被害が29棟確認されています。

●農作物／水稲や大豆の倒伏、中石地区で和梨の樹園地全域で果実の2割から4割の落下や、和梨や露地菊の一部の葉に枯れ上りが見られ、今後被害の増加が懸念されます。葉たばこは、ハウス破損により減収100kgの被害が見込まれます。

●農業者の被害が29棟確認されています。

●農作物／水稲や大豆の倒伏、中石地区で和梨の樹園地全域で果実の2割から4割の落下や、和梨や露地菊の一部の葉に枯れ上りが見られ、今後被害の増加が懸念されます。葉たばこは、ハウス破損により減収100kgの被害が見込まれます。

●農業者の被害が29棟確認されています。

●平成29年度男鹿市一般会計歳入歳出決算

●平成29年度男鹿市特別会計歳入歳出決算

●一般会計予算（第3号）

●主な内容

●スクールバス更新事業費1千840万円、現在公共土木施設災害復旧費1千470万円、農地農業用施設補助災害復旧事業費1千413万2千円などを措置したもので、歳入歳出それぞれ7千490万円を追加するものです。他1件

●市道の廃止・認定

●人権擁護委員の推薦

●畠山喜代和（北浦）

●三浦 源蔵（男鹿中）

●渡部 恵子（船越）

●古仲 宗雲（北浦）

公営企業会計 決算特別 委員会

7月臨時会では、平成29年度の病院、上水道、ガス、下水道、農業集落排水及び漁業集落排水事業会計決算について審査するため、議会選出監査委員を除く議員17人で構成する決算特別委員会（委員長・伊藤宗就議員、副委員長・古仲清尚議員）を設置・付託し、継続審査としました。その後開催された委員会では、審査の結果、いずれも全会一致で認定しました。決算の概要と質疑から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

【概要】

病院事業の経営状況は、総収益25億5千750万1千685円に対して、総費用25億6千443万6千554円で、差引693万4千869円の単年度赤字となりました。単年度赤字は4年ぶり、累積欠損は16億5千870万7千133円となりました。

また、地方公営企業会計制度の改正の経過措置が終了したことにより、資金不足が生じており、今後、継続的に資金不足が発生すると懸念されることから、その解消に向けて取り組みが求められます。

上水道事業の経営状況は、総収益6億2千23万1千192円に対して、総費用は6億365万9千652円で、差引1千857万1千540円の黒字決算となりました。ガス事業の経営状況は、総収益5億6千923万8千1

91円に対し、総費用5億4千848万4千940円で、差引2千75万3千251円の黒字決算となりました。下水道事業の経営状況は、総収益8億5千727万2千904円に対し、総費用は7億7千497万5千908円で、差引8千229万6千996円の黒字決算となりました。これは約2億9千9万円の営業損失が生じたものの、営業外利益が約3億7千7万1円生じたことによるものです。

農業集落排水事業の経営状況は、総収益9千924万3千700円に対し、総費用は8千854万9千935円で、差引1千69万9千3765円の黒字決算となりました。これは約6千400万円の営業損失が生じたものの、営業外利益が約7千400万円生じたことによるものです。

漁業集落排水事業の経営状況は、総収益7千581万3千411円に対し、総費用は8千501万4千777円で、差引920万1千366円の赤字決算となりました。これは営業外利益が約5千200万円でしたが、営業損失が約6千100万円が生じたことによるものです。

資金収支面は内部留保資金を保有していることから、不良債務は発生しないものです。

●病院事業会計

病院経営のあり方について

質疑 人口減少に伴う患者数の見通しと、地域医療構想や高齢患者への対応、市内医療機関との連携強化など、病院経営のあり方について伺います。

答 本市では人口減少が進んでおり、高齢化がさらに進むなか、長期入院体制や地域

●下水道事業会計

公共下水道整備計画について

質疑 下水道未整備区域の整備計画について伺います。

答 現在の下水道整備率は61%ですが、平成31年度の百川地区の整備をもって終了する予定です。比詰、田

一般会計及び 各特別会計 決算特別 委員会

9月定例会では、平成29年度一般会計及び特別会計決算について審査するため、議会選出監査委員を除く議員17人で構成する特別委員会（委員長・佐藤誠議員、副委員長・佐々木克広議員）を設置・付託しました。

委員会では、市当局からの補足説明と監査委員から決算審査における総括意見を受けたのち審査を行い、平成25年度決算以来、4年ぶりの認定となりました。

決算の概要と質疑から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

【概要】

平成29年度一般会計の決算状況は、歳入173億213万8千861円、歳出169億9千825万3千750円で、歳入歳出差引額は3億388万5千111円となりました。このうち継続費及び繰越明許費の財源として2千320万5千955円を翌年度へ繰り越したため、実質収支は2億8千67万9千156円の黒字決算となりました。

また、健全化判断比率の4指標は、実質赤字比率、連結実質赤字比率とも赤字額が発生していないことから、生じない状況となっており、実質公債費比率は前年度と比較し、0・5ポイント減の10・7％、将来負担比率は前年度と比較し、11・3ポイント減の105・7％となっています。

元税務課職員による 公金着服事件について

質疑 直近3か年の一般・各特別会計不認定を踏まえた平成29年度における公金着服事件への市の対応と今後の考え方について伺います。

答 平成29年度において、これまでとの大きな違いは、関係する市職員OBの方々が、当時監督すべき立場として、市民や現役職員に多大な迷惑をおかけしたということ、寄附をいただいています。また、本人名義により弁償金が継続的に3回納入されています。

今後は、債務を認めている額については、本人が収監中であることから、出所後に分割納付を含め、本格的に弁償を促していきます。債務を認めていない額については、訴訟手続きにより債務名義を取

決算書の「現金不足額」 の記載について

質疑 一般・各特別会計における現金不足処理及び一般会計決算書調製における「現金不足額」の記載について伺います。

得する必要がありますが、本人は資産も支払い能力もない状態であるので、たとえ裁判で認められたとしても、全額回収することは極めて困難であると考えています。債務名義を取得しない場合は、地方自治法に基づき、時効を迎え債権が消滅するか、時効前に議会の議決により、権利の放棄による不納欠損処理をすることとなります。この対応については、本人の出所後に再度、折衝するとともに、適切な時期に議会と協議し、判断していきます。

中小企業振興資金融資 あっせん制度について

質疑 本制度の概要及び市が金融機関に預託している2億7千200万円の必要性について伺います。

答 本制度は、男鹿市の中小企業者の経営のために必要な資金をあっせんすることを目的とし、昭和43年に創設したものです。現在、中小企業振興資金制度、小規模企業信用資金制度、創業資金制度の3種があります。また、2億7千200万円の預託金については、年々融資が増加傾向

にあり、今後も急激な景気の変化等も考えられることから、市内中小企業者の経営の安定化と活性化のため、十分な融資額を準備する必要があることから適正額と考えています。

健診受診率の向上について

質疑 健診受診率の向上対策及び健康ポイント事業との連携について伺います。

答 健診の受診については、広報おが、市ホームページでの広報活動はもちろんのこと、市内に238人おられる保健推進員による受診勧奨を行っています。また、昨年度は保健師が各家庭を訪問し、441件の受診勧奨を行いました。平日が仕事のため受診できない方には、日曜健診も実施しています。さらに、男鹿・潟上・南秋地区の3か所の医療機関と連携し、医師から健診の受診を勧めたいと思っています。

健康ポイント事業は、健診受診や健康増進に取り組んでいただき、応募すれば景品が当たるというインセンティブをもつて、市民に少しでも健康づくりに関心をもってもらいたいとする事業であります。今後、広く市民に周知するよう努めていきます。



佐藤 巳次郎 議員

「オガレ」オープン

2か月間の買い物客数8万2千人余
売上げ1億4千800万円

質 7月1日に道の駅おが「オガレ」と、移転新築されたJR男鹿駅が同時オープンし、多くのイベントが行われ、市内外から1万8千人が来場し買い物や食事、終日賑わいました。オープン後も雲昌寺のあじさい、ロックフェスティバル、日本海花火、お盆の帰省客等々、大きなイベントと重なり、大変な賑わいが続き、男鹿の観光にとっても大きな成果となっています。オガレに来場した方々の多くは、市内の観光地巡りをしていきます。オープンから2か月間の買い物客数及び販売額数と、計画通りであるのか伺います。また、市民からオガレへの改善の意見が多く寄せられていました。男鹿の特産物である魚介類が少ない、野菜類が品薄、男鹿の漬物、弁当、鯛めし、しよつる焼きそば等がない。他の道の駅の土産と大差がなく、男鹿の特色がない。営業時

間が短い。レストランのメニュー、価格を再検討するべき。男鹿駅との間に信号機がなく危険等々の意見があります。このようなオガレに対する反応を受け、今後の取り組みについてどのように考えているか伺います。

答 オープン以来、大勢の方々に訪れていただき、概ね好評を得ているものと認識しています。新鮮な魚介類が安く購入できる、男鹿でお土産が購入できる等の声をいただく一方、販売品の品不足感、営業時間に関する苦言もいただいています。改善に向けて情報と共有し、早急に対処して利用状況については、物産館、レストラン、軽食の合計で8月末現在、レジ通過者数8万2千662人、売上額約1億4千800万円となっています。計画比24％の増となっています。オガレの位置づけについては、単なる道の駅として整備したものではなく、市内周遊観光の結節点であり、交流人口の拡大と地域活性化を目的とする男鹿再生のためあらゆる産業の拠点、情報発信基地として整備したものであります。

その他の質問

- 男鹿駅周辺土地利用基本計画について
- 子育て支援について
- イーリス・アショアについて



安田 健次郎 議員

オガレについて

質 これから男鹿が蘇るとしてオープンしました。農産物などの品不足が目立っています。販売品についての実態と考え方を伺います。

答 出品登録業者は、水産物は35事業者、農産物は37事業者ですが、農産物は季節的な事情もあり品不足が否めませんが、今後、秋の収穫期を迎え徐々に増えていくものと期待しています。品不足の解消には農水産事業者の登録を増やることが重要と考えています。来場者や市民向けの食事が不便との声もありますが対応について伺います。

質 お客様からのニーズに対応することを必要とありますが、全てをこの施設で完結することは考えていません。

答 今後の施設運営について財政面で市の考えを伺います。道の駅機能にかかる必要最低限の経費である指定管理料以外の支出は考えていません。出資

者として、誘客などのソフト面で支援していきます。

森林対策について

質 市の面積の半分は森林ですが、近年、多量の間伐は見受けられますがあまりに荒れ放題です。今後、CLTや県の林業大学の取り組み、移住希望者も含めた林業就業対策などを考えるべきと思うが市の考えを伺います。

答 健全な森林を長期的な観点から維持・育成していくため計画を作成中です。CLTは供給体制に課題があり普及には至っていません。林業大学は研修制度などの情報を市ホームページで提供していきます。

介護保険制度について

質 8月から利用料負担が2割から3割に改正され、10月からは生活援助の回数が3回以上利用すると届出義務が必要となりました。この階層の方々には非常に困難なことが予想されますが、それらの対応について伺います。

答 これまでの2割負担の方は67名で、新たに18名が3割負担となります。利用回数を越えることとはなく、一律に制限を行うことはなく、必要に応じてケアプランの検証を行うこととしています。



佐々木克広 議員

防災対策の備えについて

8月5日の雷雨時に男鹿アメダスが30時間故障した原因について伺います。

秋田地方気象台によると、雷の影響で機器に障害が生じました。対策を講じていますが、完全に防ぐことは難しいようです。台風20号接近時に県河川砂防情報システムから注意報が出されています。市内河川への水位計設置の現状について伺います。

秋田地域県管理河川減災対策協議会において、氾濫による浸水被害発生が懸念される鮎川比詰川、賀茂川に水位計を今年度設置します。

市の産業振興・財政再建について
『PORT2030』（国交省の港湾中長期政策）の船川港への影響について伺います。

船川港港湾振興会と共に整備促進について国・県へ要望しました。

海水温上昇に伴う暖水系漁業資源北上・在来種との交雑対策について伺います。

平成元年比平均0.3度上昇を確認し、対策としてキジハタ等の種苗生産・放流に取り組んでいます。暖水系フグと在来種との交雑個体は管内で水揚げされていませんが、暖水系ウニは増加が確認されており、藻場などへの影響を監視中と伺っています。

男鹿製菓、若美メロン、長ネギ等、市の特産品振興に、金足農業高校野球部大活躍の経済効果を活用した連携について伺います。

市では2年前から市内事業者や男鹿海洋高校とサバ缶やブリカレなどを商品化しており、金足農業高校との連携計画は現時点で無いものの、今後も地域連携を深めます。

男鹿駅周辺まちづくり意見交換会と駅周辺土地利用基本計画の方向性について伺います。

10月末までに意見交換会を3回行い、議員にもご意見をいただき、12月中旬までに計画を策定します。

福祉・弱者対策普及促進について
「ヘルプマーク・ヘルプカード」の活用について伺います。

援助を必要とする方だけでなく、広く市民への啓発につながるよう広報します。

英語教員の対策について伺います。

これまで、国際教養大学準教法や、教員の英語コミュニケーション能力向上に係る研修を実施してきました。また、男鹿東中学校に配置されている英語教育専門監が、中学校英語担当教員に対する英語指導力向上研修を行っています。

学習に必要な電子機器の準備について伺います。

平成31年度中にパソコンからタブレットへ移行し、電子黒板に変わるとされる大型提示装置の導入準備を進めています。

男鹿駅周辺とまちづくり構想
旧駅舎からオガレまでの用地購入を前提に、新駅舎建設の覚書がJRRと交わされましたが、どのような構想があるのか伺います。

計画は未定です。県事業の「起業者を呼び込める商店街づくり」との相乗効果を念頭に、男鹿駅周辺土地利用基本計画を策定しています。3回の意見交換会を行い、市政懇談会の後、12月中旬までに計画を策定します。

【その他の質問】
観光案内について



古仲 清尚 議員

地域資源活用について

地域力の維持・強化を図っていくためには、諸産業の担い手となる人材の確保や育成が重要な課題であることから、地域おこし協力隊制度に、一次産業を中心とした産業担い手枠（後継者育成枠）を新設し、展開していくことが有用と考えますが、見解を伺います。

各産業の受入態勢の整備等の課題をクリアすることで制度利用は可能であることから、今後検討していきます。

入道崎の北緯40度線では、石造碑の日時計と北緯40度線への誘導碑である北斗の路が注目されやすく、本来の北緯40度碑まで訪れにくい状況にあるなど、芝生やトイレも含めた、魅力最大化に資する環境整備が必要と考えますが、見解を伺います。

入道崎は、男鹿の代表的な景勝地の一つでもあり、今後とも快適な観光を楽しんでいただくため、北緯40度線の案内方法や環境整備等、観光客の受入態勢の改善を伺います。

入道崎は、男鹿の代表的な景勝地の一つでもあり、今後とも快適な観光を楽しんでいただくため、北緯40度線の案内方法や環境整備等、観光客の受入態勢の改善を伺います。

入道崎は、男鹿の代表的な景勝地の一つでもあり、今後とも快適な観光を楽しんでいただくため、北緯40度線の案内方法や環境整備等、観光客の受入態勢の改善を伺います。

善に努めます。

道路交通環境整備について、観光客が安心して楽しむことができる案内標識等の適宜適切な充実も含め、更なる注力をすべきと考えますが、見解を伺います。

道路標識や案内看板については、視認性が落ちていないか改めて確認を行うとともに、主要道路の枝払い、草刈り、標識の建て替え、路面の補修などの道路環境整備については、管理する県に対応を要望します。

公共下水道事業について
公共下水道事業においては、住民ニーズに適切に対応しながら、水環境形成と行財政運営の両立、中・長期的な事業計画が期待されますが、整備計画の実績と今後のビジョンについて見解を伺います。

公共下水道事業については、平成31年度、百川地区の整備をもって終了予定としています。整備予定区域においては、市の公共下水道事業計画の見直しに向けて準備を進めています。

介護医療院（医療と介護機能併設）創設の可能性について
訪問看護ステーションおが廃止について（訪問看護の充実を！）
多職種連携の実践について

介護医療院（医療と介護機能併設）創設の可能性について
訪問看護ステーションおが廃止について（訪問看護の充実を！）
多職種連携の実践について

介護医療院（医療と介護機能併設）創設の可能性について
訪問看護ステーションおが廃止について（訪問看護の充実を！）
多職種連携の実践について



船木 正博 議員

旧男鹿駅周辺の利用法について

JRR用地購入予定地の現時点での整備計画について伺います。

現在、男鹿駅周辺土地利用基本計画策定業務において、市民との意見交換会や市政懇談会を行い、計画案を取りまとめたのち、最終的には12月中旬までに計画を策定したいと考えています。

市民サービスにも繋がるJRR利用者専用駐車場の設置について伺います。

今後、意見交換会、市政懇談会をおこなって計画案を取りまとめいく中で検討します。

企業誘致状況について
市長就任2年目を迎え、企業誘致についてどのような取り組みをしてきたのか伺います。

昨年9月には、「施設整備費補助金」を新設しました。来年度より職員1名を東京の秋田県企業立地事務所へ派遣予定であり、これに先立ち、今年度から秋田県

企業誘致状況について
市長就任2年目を迎え、企業誘致についてどのような取り組みをしてきたのか伺います。

昨年9月には、「施設整備費補助金」を新設しました。来年度より職員1名を東京の秋田県企業立地事務所へ派遣予定であり、これに先立ち、今年度から秋田県



進藤 優子 議員

災害への備えについて

質 頻発する自然災害を踏まえて、地域防災対策の再点検が必要になってきているのではないかと、の観点から、①地域防災計画について、②ハザードマップについて、③タイムラインについて、④SNSの活用について、⑤液体ミルクの備蓄について伺います。

答 ①地区防災計画を地区居住者が策定することで、地域防災力の更なる向上が期待できるので、制度の普及に努めます。②住民が自ら地域の災害リスクに向き合い、被害を軽減できる取り組みを推進するとともに、自主防災組織等、ハザードマップを活用した防災訓練を促し、普及浸透します。③自分の作成は、迅速な避難行動につながる有効な手段と考えられるため、概要を説明、周知します。④SNSは、情報伝達手段として効果的であり、今後も活用します。⑤国内販売の開始や他自治体の備蓄状況等を見ながら、液体ミルク

の備蓄について検討します。
学校及び通学路における児童・生徒の安全確保について

質 通学路のブロック塀の改修・撤去に対する費用の助成をして、安全対策の強化をすべきと考えますが見解を伺います。

答 ブロック塀の維持管理は、所有者、管理者の責任であり、費用の助成は考えていません。広報、市ホームページで適切な維持管理について周知します。

質 子どもたちの猛暑対策として、教室へのエアコン設置が急務と考えますが見解を伺います。

答 熱中症対策は国のマニュアルに沿って対応していますが、今後はエアコンが必要とされる期間や室内温度等の本市の状況を分析するとともに、国の動向や支援策を注視しながら、財政状況等を考慮し検討します。

スマートフォン向け行政情報アプリの活用について

質 広報おがを多くの方に読んでいただけるよう、無料アプリ「マチイロ」での配信の可能性について伺います。

答 スマートフォンの活用で、全市に本市の市政全般にわたる情報を発信できることから、アプリでの広報誌配信を検討します。

観光者の受入れ態勢について

質 インバウンドPRの現状と入込数について伺います。

答 県知事と共に大連市や台湾を訪れ、セールスを行いました。平成28年度の入込数2千431人に對し、昨年は6千545人と伸びており、県と連携した効果が表れ始めたと考えています。

質 外国人旅行者の旅行保険不加入問題について、政府が対応に乗り出しています。市内医療機関でこれに該当する問題は発生していないのか、発生した場合に市の負担はないのか伺います。

答 これまで旅行保険加入の有無に関わらず、不払いとなったケースはありません。また、不払いが生じても市の負担は発生しません。

質 男鹿日本海花火等、宿泊施設が不足しがちな行事がいくつもあります。これを解消する手段として、旅行業法の許可なく宿泊サービスが可能となるイベント民泊があるが、実施できないか伺います。

答 イベント民泊は交流人口の拡大や経済効果だけでなく、サービス提供者との交流による関係人口拡大にもつながります。既存宿泊事業者への影響を考慮しながら検討します。



米谷 勝 議員

雨水対策について

質 大雨のたびに比詰川では床上浸水、鮎川では市道の冠水等の被害が発生していますが、今後の対応について伺います。

答 比詰川、鮎川は、県管理河川ですが、県では整備計画を作成していないと伺っています。両河川について、県との合同パトロール等の際に整備を要望しており、鮎川については、部分的な改修に向けた測量調査を行っています。また比詰川については、河道整備等の協議を行っていきます。今後も早期に改修工事が行われるよう要望を続けます。

質 水位観測体制の整備について伺います。

答 比詰川、鮎川及び賀賀川に水位計を設置し、来年度から県のホームページ（秋田県河川砂防情報システム）で水位観測データを確認することが出来ます。市民が自発的に避難判断するための活用を呼び掛けていきます。

空き家・空き地バンクについて

質 利活用可能な空き家等の掘り起こしのため、登録物件を広報誌や庁舎内に写真等を掲示して紹介できないか、また宅地建物取引業者とも協力し、全国的な情報誌に流通を促すための情報を提供できないか伺います。

答 登録物件については、市ホームページ及び秋田県移住・定住総合ポータルサイト等のウェブサイトを移住・定住情報誌への掲載のほか、首都圏移住フェアでの紹介等を行っています。今後も各広報媒体を活用しながら、購入希望者とのマッチングを図っていきます。

質 県外からの転入者を支援するため、空き家のリフォーム費用の一部助成や住宅購入資金に対する低利融資や利子補給制度の創設について伺います。

答 リフォーム費用の助成については、現在実施している親元近居同居支援事業で実施していますが、今後、他の制度も含め補助要件を検討し、より効果的な支援に努めます。また、購入資金については親元近居同居支援事業及び定住促進事業において、住宅取得に対する補助を行っています。

【その他の質問】

●介護保険について



男鹿市公園条例等及び都市公園条例の一部改正について

質 体育施設の市民利用は平成22年度から無料としてきました。今回施設利用の受益者負担のあり方や本市の財政状況などを鑑み、有料化とする改正条例案が提案されましたが、有料化によって利用者サービスの向上、利用者増につながるのか、スポーツ振興の支障にならないのか、体育協会との協議はどうであったのか伺います。



男鹿市総合体育館

台風21号に係る災害復旧について

質 台風21号により、梨を生産される農家、花の露地栽培等の被害が大きい状況である。被害の実態と支援策について伺います。

答 当初の速報値から現在はかなり深刻な被害状況と認識しています。支援については、共済組合、JAの調査結果をふまえ、前向きに検討していった。

特別 委員 会 予 算 委 員 会

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会、付託された一般会計補正予算（第3号）について審査し、原案のとおり、可決すべきものと決しました。
委員会が質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

男鹿駅周辺土地利用 基本計画について

質疑 本計画の策定にあたり

委託業者と市民の意見を調整し、いかに取りまとめるのか、市長の考えについて伺います。

答 委託業者は過去に商店街の活性化を手掛けたことのある㈱シーヴィジョンズです。計画の策定にあたっては、市民レベルで考え、市民が自ら参加するスタンスで、私は非常に共感しています。市職員や市民の声を聴くとともに、互いに議論を重ね計画策定を進めています。あわせて、これを進めるなかでは、議会との協議、議論等も非常に大事だと思っており、12月中旬までに計画を策定しますので、私がリーダーシップをとってやらせていただきます。

オガールの取り組み について

質疑 オガールへの様々な指摘への対応及び産業振興や誘客につなげる取り組みについて伺います。
答 オガールの運営は、現在のところ順調ですが、危機感を持ってやっています。私は何度も、オガールがダメになると男鹿がダメになるという気持ちでやってみようという話をしています。品揃えが少ないという指摘がありますが、より多くの農水産事業者の出品者登録を増やす取り組みを行っています。また、漁業については、新鮮な水産物を陳列してはいますが、少し時間が経過したものは加工したうえで販売するなど、6次産業化も目指し、地域経済の活性化につなげばと思っています。出品者が少しでも稼ぎ、所得を得て、それに働きたいを感じ、健康寿命の延伸につながっていくのではないかと考えています。

また、例年冬期間の観光客は3分の1に減ることから、ハタタやタラなどの「男鹿の食」の振る舞いや、㈱ドリムリンクによる「舞雪が」ブランド化の推進、JRでは首都圏から臨時列車を運行するという話もありますので、男鹿全体にこれまでにない誘客が見込めるのではないかと期待しています。

路線バス潟西南部線の 廃止について

質疑 潟西南部線廃止後の市単独運行バス及びスクールバスの運行形態について伺います。

答 秋田中央交通が運行する潟西南部線が平成31年3月末に廃止予定となったことから、市単独バスによる代替運行を予定しています。代替運行にあたっては、市単独バスで運行が予定される潟西北部線との統合が予定されており、大幅なダイヤ改正が見込まれています。現在、美里小学校の旧野石小学校区児童が潟西北部線を利用していますが、ダイヤ改正により、登下校時の運行が困難となることから、スクールバス2台を購入し対応する予定としています。

●多くの意見ありがとうございました 議会報告会開催

男鹿市議会では、男鹿市議会基本条例に基づき、平成24年から毎年1回、議会報告会を開催しています。今年度も3班に分かれ、市内9地区で開催しました。開催にあたっては、より多くの方に参加頂けるよう、開催日時等について協議を重ね、広報した結果、市政に関心を持つ多くの方からご参加いただきました。

報告会では、平成30年度の主要事業の概要及び当初予算や6月定例会の概要について報告し、その後、それらに基づく質疑応答や地域の諸課題など、議員と参加者が市勢発展に向け、活発な議論を行いました。

質疑等が出されました御意見・御要望は、市当局に適宜要請して参ります。

来年度の開催につきましても、より多くの方に参加頂けるよう、努めていきます。御協力ありがとうございます。

【参加者からの質疑・要望】
●オガールの運営状況について
●男鹿駅周辺土地利用基本計画策定の進捗状況について
●人口減少対策について
●危険空家の現状と対策について
●公共施設等総合管理計画における廃止施設について
●男鹿版DMO推進事業について



北浦地区議会報告会。「人口減少」が加速するなか、議会ではどのような議論がなされているのか」との質疑がありました。

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。
質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

質疑 旧桜島苑等除却工事について、当初は7月1日のオガール開業に間に合わせて除却すると説明を受けていたが、これまでの経過及び進捗状況について伺います。

答 除却工事に向けた現地調査の結果、アスベスト含有の可能性が低いとの判断のもと、基礎部分を除いた上屋の解体処分費用とアスベスト調査費用を当初予算に措置しました。

しかし、専門機関による目視調査により、アスベスト含有性の疑いのある箇所について、定性分析を行った結果、発じん性の高いアスベストが確認され、詳細な分析結果を得るまでに時間を要したため事業に遅れが生じました。
このため、今補正予算にア

スベスト飛散防止対策等の費用を計上しておりますが、予算可決後は、10月上旬に入札を実施し、年内に除却する予定です。

質疑 男鹿駅周辺土地利用基本計画策定業務について、当該業務を委託した事業者を選定した経緯について伺います。

答 当該事業者は、今年度県事業の「起業者を呼び込める商店街づくり支援事業」も受託しており、この県事業に本市からは、船川地区の空き店舗を活用することで駅前からの誘客を図る取り組みを応募し、採択されています。

今回、男鹿駅周辺土地利用基本計画を策定する上で、駅周辺の計画に止まらず、船川商店街までエリアを拡大し、賑わい創出を図ることを目指し、当該事業者が委託することとしました。両事業を同一相乗効果が見込めると期待しています。

教育厚生

質疑 斎場の施設維持方針に

ついて伺います。
答 斎場は竣工から約30年が経過し、老朽化が進んでいるなか、建て替えとなると財政負担が大きいため、適切な維持管理や予防保全を行うことにより、計画的な財政支出と施設の長寿命化を図っていきます。

意見 斎場の運営については、火葬使用料の見直しや、飲食物の販売など、収益確保のための自助努力が必要であり、指定管理者と協議をしていた方がいい。

質疑 平成30年度全国学力・学習状況調査結果において、家庭での学習時間が国・県の割合を下回る結果となり、改善に向けた取り組みについて伺います。

答 家庭学習を毎日するという習慣はあると認識している。量の部分については、今後、各学校全体の状況、各学年の状況、個人の状況を分析し、保護者の方々と連携して改善に努めます。

質疑 一般会計補正予算に計上している住民基本台帳シス

テム及び国民年金システム改修業務の事業内容について伺います。

答 住民基本台帳システム改修は、マイナンバーカード等の記載事項の充実を図るもので、旧姓を併記することが可能となることへの対応です。

国民年金システムの改修は、平成31年4月1日から始まる、第1号被保険者の産前産後期間の保険料免除制度に対応するもので、いずれの改修も全額国の負担で行うものです。

産業建設

質疑 5月18日からの豪雨災害による農地農業用施設災害復旧事業の負担割合について伺います。

答 事業の基本となる負担割合は、国が65パーセント、農家が35パーセントとなっていますが、補助率の増高申請による、補助割合を高上げする制度があり、このたびの災害規模を考慮すると、この制度を活用することになります。

質疑 ふるさと納税のウェブポータルサイト「葉たふるさと納税」の内容について伺います。
答 8月10日から追加した

ウェブポータルサイトで、現在の本市からの出品は、ベニズワイガニ5種類のみであり、8月末現在で14件、32万円の実績となっております。サイト内において、注目の品物がピックアップされるなどの利点があることから、今後、返礼品の出品数の拡充や、安定供給とともに、周知の強化を図り、さらなる寄附獲得を目指していきます。

質疑 公共下水道事業計画の見直しについて伺います。
答 現在市の公共下水道計画は、平成32年度までの実施期間として進めており、平成31年度の百川地区の整備完了をもって、終了する予定です。

現在の計画区域である比治、田中、仁井山地区においては、合併浄化槽による、個別処理区域に変更する予定でありまして、今後の協議日程については、平成32年度の男鹿市都市計画審議会に諮り、承認後、県へ変更認可申請を行う予定です。

計画変更予定地区への対応については、合併浄化槽設置も考えられることから、関係部署と相談の上、丁寧な説明に努めてまいります。

陳情

- 「生涯現役社会」を実践するシルバー人材センターの決意と支援の要望
 - 消費税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書
 - 食料の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的見直しを求める陳情書
 - 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書提出の陳情書
- 《主な内容》農産物検査法は昭和

議員は公職選挙法により、選挙区内で答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状を出すことはできません。

皆さんのご理解をお願いいたします。

市議会議員一同

平成30年12月定例会日程（予定）

月	日	曜日	会 議 名	主 な 内 容
12	4	火	本 会 議	市長提出議案上程（提案理由の説明）
	6	木		一般質問
	7	金		一般質問
	10	月		一般質問
	11	火		議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託
	12	水	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置
	13	木	常任委員会・分科会	付託議案等の審査・現地調査
	14	金		（総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会）
	19	水	予算特別委員会	各分科会委員長報告、質疑、討論、表決
			議会運営委員会	最終日の運営について
			本 会 議	各委員長報告 （総務・教育厚生・産業建設・予算特別） 質疑、討論、表決

議員クラブによる
交通安全啓発活動

「秋の全国交通安全運動」期間中の9月25日、議員クラブが交通安全に対する意識高揚と啓発を目的に、市内の保育園、幼稚園を訪問し、園児たちに交通事故防止を呼びかけました。



船越保育園



若美南保育園



北浦保育園

編集後記

▼朝夕の寒気が身にしみ、寒い季節を迎えようとしております。市民の皆様には、ご自身の健康管理にご留意をお願い致します。また、今年は各地で自然災害等による被害が多発し、被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

▼9月定例会では、平成29年度一般会計及び特別会計決算案の各議案について活発な議論が交わされました。男鹿市公園条例等及び都市公園条例の改正案について継続審査とした以外はすべて可決・認定・異議なしとしました。

▼7月にオープンした複合観光施設オガレ（道の駅おが）と新駅舎を中心に各イベントが開催されました。予想を上回る大勢の人が来ておりますが、色々なご意見、ご要望等を耳にします。これから冬場を迎え、いかにして男鹿に来てもらうか課題が山積みです。私も議会におきましても「オール男鹿」と「おもてなしの心」で、今後も新たなまちづくりに取り組んで参りたいと考えております。

(鈴木元章)